

蕨 7 広報WARABI

2014/平成26年
わらび・758

- 平成26年7月1日発行／発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km²
- 6月1日現在人口：72,303人 前月比 +8人
男 36,683人 女 35,620人
世帯数：35,966
人口密度：14,177人/km²

元気にすくすく
大きくなあれ。



～今月の特集～

- 応援します!!
子育てファミリー
- 検証：市長マニフェスト


WARABI

遊びにおいでよ!! 子育て応援する 身近な施設

特集：応援します!!
子育てファミリー
—Part1—

子どもを安心して産み育てることができ、笑顔が輝くまちを目指して、市では、子育てしたくなる環境づくりやサービスの更なる充実を図っています。今月の特集テーマは子育て支援。2、3ページでは楽しく遊べて、親どうしの交流や子育てに関する相談などができる市内の主な施設をご紹介します。

無邪気な表情に純粹な瞳。我が子の健やかな成長は親ならば誰もが持つ願いです。だから、毎日の子育てにも全力投球。でも、少し一息つきたいときや気分転換したいとき、ご利用いただきたいのが、子どもが遊べて親どうしの交流も深められる身近な施設（下地図）です。まず、ご紹介するのは福祉・児童センターと児童館（計5か所）。おもちゃや絵本があり、楽しく過ごせるのもちろん、親子の触れ合いを深められる催しもあります。また、お茶を飲みながら自由に過ごせる「ママのティータイム」は情報交換や仲間づくりの場として

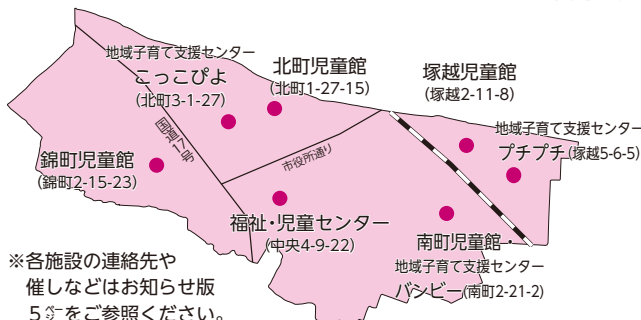
上手に活用し楽しく子育て

児童センター・児童館



▲「ママのティータイム」でほっと一息

児童館・地域子育て支援センター 市内一覧



交流できる便利な施設

1歳の莉夏と児童館をよく利用しています。「ママのティータイム」もその一つ。娘はおもちゃで遊べるし、私もママたちと話したり、先生に質問できたりするので楽しみにしています。家に子どもと一対一でいるとストレスもたまってしまうがちですが、身近にこうした場があると心強いですね。

声



こぐち かおり
小口 香織さん
北町4丁目・40歳

充実!! 地域ぐるみでの子育て支援

市内には地域の皆さんが中心になって、開かれている楽しい催しもたくさんあります。ここではそのなかの2つをご紹介します。

～ 外遊びを考える会 だろんこの王様 ～

今月は8日
と19日



錦町6丁目ちびっこ広場No.34 活動＝①第3土曜日 どなたでも ②第2火曜日 親子(未就園児) 午前10時～午後4時(②は1時)詳細＝西公民館(☎442・4054)



いつもともこ
新妻 朋子代表

2歳の龍海と遊びに来たのは2回目。文字どおり、泥んこになりながら思い切り体を動かしています。

園内には手作り遊具や好奇心を刺激する物がいっぱい。予約は必要ないので気軽に来てくださいね。



すずき えみ
鈴木 恵美さん
錦町6丁目・34歳

～ みきおねえさんの エプロンシアター ～

今月は19日



福祉・児童センター 活動＝第3土曜日 午前11時15分 親子(乳幼児) 詳細＝同センター(☎431・7300)



はら みきこ
原 美紀子さん

優しい読み聞かせや手遊びに3歳の泰基と7か月の陽基はいつも楽しそうな表情を浮かべています。

家族みんなが楽しいひとときを過ごせるようにしています。子育ての合間に立ち寄ってくださいね。



まつだ たけし
松田 剛さん
中央6丁目・33歳

健康や食事に関する相談を保健師・栄養士がお受けしています。火・木曜日(午前9時～正午) 詳細＝保健センター(☎431・5590)

悩みや子どもの発達などの相談を電話・来室で行っています。火・日曜日(午前9時～午後4時) 詳細＝福祉・児童センター内・同相談室(☎431・3449)

子育てに関する相談窓口

声



たかおか まりこ
高岡 麻里子さん
中央2丁目・40歳

気軽にできる育児相談

現在10か月の美月といっしょに、近くの地域子育て支援センターに定期的に来ています。娘は同年齢のお友達と触れ合い、刺激を受けながら楽しんでいるようです。初めての子育てで分からないことが多い私も、育児に関する疑問を先生たちに聞くことができるので、とても助かっています。



▲リラックスした雰囲気の中、他のママとの交流が深められます

地域子育て支援センター



▲育児相談は全センターとも来園、電話、FAXでお受けしています。詳しくはお知らせ版5頁をご参照ください

も好評で、各施設とも月1、2回行われているのでぜひお越しください。施設によつては休日にパパが参加できる催しもあります。続いてご紹介するのは地域子育て支援センター(全3か所)。こちらも仲間づくりの場として活用いただけるほか、経験豊かな職員に育児相談ができます。子育ては成長に伴い、多くの悩みや不安が出てくるもの。専門的な立場でアドバイスをするのにも必要に応じて保健師などとの連携を図ります。なお、市には子育てに関する相談を個別にお聴きする窓口(左下囲み)もあります。悩みを一人で抱え込まず、気軽に相談ください。

パパにもお勧めです!!

先月、初めて児童館の「パパとママのティータイム」に参加しました。1歳の瑚都といっしょに体操をしたり、遊んだり親子で楽しみました。こうした機会があると、子どもと触れ合いを深められるし、地域の皆さんとも親しくなれるのでいいですね。気軽に参加できるので、他のお父さんたちにもお勧めしたいです。

声



なかがわ だいすけ
中川 大輔さん
塚越5丁目・32歳



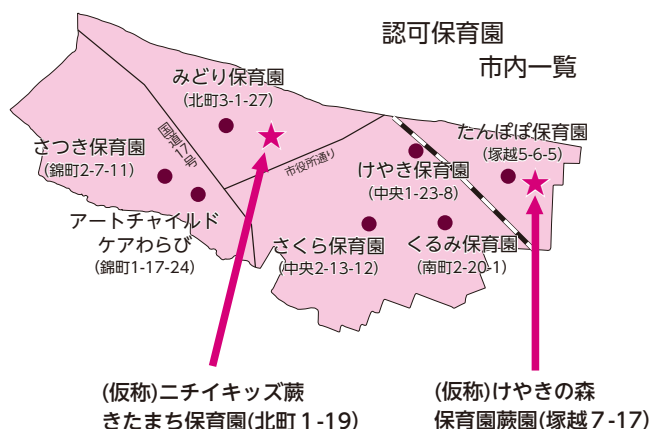
待機児童ゼロに向け

来年4月に開園

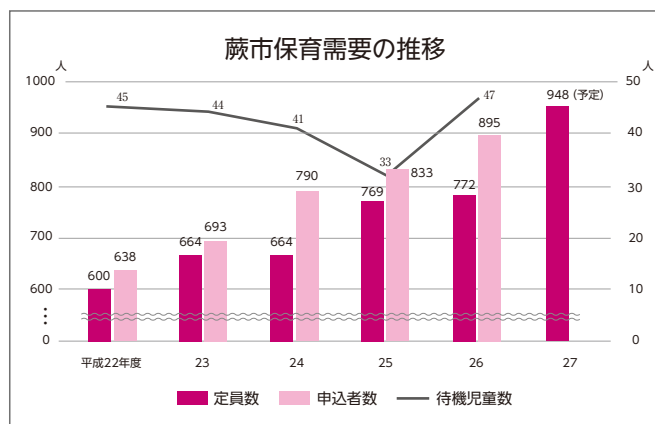
2つの民間認可保育園

子育てしたくなる環境づくりの一環として、市が力を入れているのが待機児童の解消を目指した取り組みです。ここではその現状と、来年4月に開園する民間認可保育園をご紹介します。

年々増えている入園申込者
女性の社会進出や共働き世帯の増加などにより、希望しても保育園に入れない待機児童が全国的に問題となっています。蕨市でも前述の理由などから、ここ5年の待機児童数(右下折れ線グラフ)は33人から47人の間で推移しています。そうしたなか、市では待機児童の解消に向け、民間との協働により、認可保育園の増設に取り組んでいます。平成23年度には、けやき保育園、25年度にはアートチャイルドケアわらびが開園。5つの公立保育園と合わせた26年度の定



員数は、22年度に比べて172人増えています。しかし、それを上回る申込者数の増加により、待機児童の解消には至っていません。蕨の待機児童の特徴としては低年齢児の数が多いこと、地区によって差があることなどが挙げられます。こうした課題を踏まえ、市では認可保育園の更なる増設に向けた取り組みを進め、来年4月、2つの園が開園することになりました。



来春に開園!! 2つの認可保育園

ここでは来年4月に開園する2つの民間認可保育園の概要と市民の皆さんの声をご紹介します。

北町1丁目

(仮称)ニチイキッズ蔵きたまち保育園

定員
66人



～基本データ～

ところ／北町1-19 敷地面積／663平方メートル 建物／2階建て 定員／66人(0歳児＝6人、1歳児～5歳児＝各12人) 運営主体／(株)ニチイ学館



わたなべ たつや
渡辺 竜也さん
北町3丁目・39歳

賛成です保育園の増設

娘の唯花がみどり保育園に通っています。全国的に問題となっている待機児童については、共働きの私たちにとっても人ごとではありません。そうしたなか、市が積極的に認可保育園の増設への取り組みを進めているのは賛成です。今後もニーズに合った子育て支援を続けてほしいですね。

(仮称)けやきの森保育園蔵園

塚越7丁目

定員
110人



～基本データ～

ところ／塚越7-17 敷地面積／934平方メートル 建物／2階建て 定員／110人(0歳児＝8人、1歳児～3歳児＝各20人、4歳児・5歳児＝各21人) 運営主体／社会福祉法人けやき会



ふくだ ひろみ
福田 裕美さん
塚越5丁目・35歳

歓迎!! 塚越の新保育園

第2子の詢真を一昨年に出産し、現在、育児休暇中です。塚越に新たな認可保育園ができ、更に低年齢児の定員が多いと聞いて喜んでいました。蔵に住んで10年。施設やサービスが充実していて、とても子育てがしやすい環境だと思っています。今後もこうした取り組みを進めてほしいですね。



▲子どもたちの笑顔あふれるまちづくりを進めます

子育て支援の更なる充実を

1つ目は塚越7丁目の「(仮称)けやきの森保育園蔵園」(定員110人)。塚越地区は入園申込者が多く、これまで認可保育園がたなほ保育園の1園だけだったため、市有地を活用し、保育園を整備・運営する事業者を公募していました。その結果、全国で6園の実績がある、社会福祉法人けやき会に決定し、現在、整備が進められています。2つ目は北町1丁目の民有地で、全国で11園の実績がある、(株)ニチイ学館が「(仮称)ニチイキッズ蔵きたまち保育園」(定員66人)の整備を進めています。いずれの保育園にも0歳・1歳・2歳といった低年齢児の定員を多くし

子育てファミリー応援!! 新しくなった便利な情報誌



子育てに関する市の制度や事業などをまとめた『わらび子育てほっと情報』を(株)サイネックスと協働で発行しました。市役所1階市民活動推進室や2階児童福祉課、保健センター、各公民館などで配布中です。なお、同冊子は電子書籍としても閲覧が可能です。詳しくは市ホームページを御覧ください。詳細＝児童福祉課(☎433・7757)

でもらうよう要請し、それが反映された形になっています。開園に向け、整備費の補助など必要な支援を行い、来年4月には認可保育園の定員数は更に176人増の948人となる予定です。

市では、今年度からスタートした「コンパクトシティ蔵」将来ビジョンの重点プロジェクトで「待機児童ゼロへ」を目標に掲げています。今後も入園申込者の増加が予測されることから、引き続き、待機児童の解消に向けた取り組みを進め、子育てしたくなる環境づくりの更なる推進を図っていきます。

更に前進する

あつたか市政

よりなみでお
頼高英雄市長が2期目をスタートさせてから、3年が経過し、マニフェスト「新あつたかプラン」は着実に進められています。ここでは市長マニフェストの進捗状況についてご報告します。



タウンミーティングで市民の皆さんと直接語り合う頼高市長

全ての項目が着手済みに

「新あつたかプラン」には41の項目があります。この1年間で保育園や公民館など公共施設の耐震化や特別養護老人ホームの増設、市の借金削減などを進め、「実施済み」は昨年より6項目増の27項目。また、検討中だった蔵駅東口コミュニティ・ショップینگ道路や音楽によるまちづくり、公共スポーツ施設のインターネット予約についても着手し、「一部実施・着手」と合わせて100%になりました。今後も厳しい財政状況の中でも、市民の皆さんと協働で誰もが住んでよかったと思えるまちづくりを進めます。

実施済み・着手合わせて100%に

マニフェスト実施状況(41項目)

◎：実施済み	27項目
○：一部実施・着手	14項目
△：検討中	0項目
★：変更	0項目

市政にひとこと Voice



さいとう こと
齋藤 あさ子さん
南町3丁目・72歳

安心感広がる施設の誘致

南町桜並木沿いの特別養護老人ホームは工事が進み、いよいよ来春オープンですね。近所の皆さんとの会話から誘致が地域で歓迎されていると感じています。こうした施設の開設により、今まで以上に住み続けたいと思えるまちになるのでしょうか。

整備が進む特別養護老人ホーム(南町2丁目)

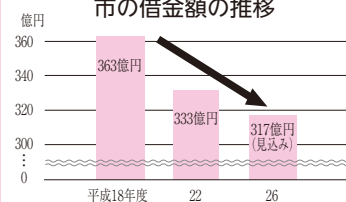


はせがわ だいすけ
長谷川 大輔さん
中央2丁目・39歳

メリハリある財政運営を

将来にわたり安定した自治体運営を行っていく上で、借金を計画的に削減しているのはいいことだと思います。そうしたなか、インフラの整備など必要なことにはしっかりとお金をかけて、安全で魅力あるまちづくりを今後も進めてほしいですね。

市の借金額の推移



26年度には18年度から約46億円削減、22年度からは約16億円削減となる見込み



かわはら みちこ
川原 倫子さん
北町1丁目・36歳

心強い公共施設の耐震化

娘が通うみどり保育園も耐震化が完了しました。子どもたちが多くの時間を過ごす場所なので、安心感が広がりますね。また、学校施設の耐震化率も100%になったそうなので、これから市内の小・中学校に進学を控える子どもの親として心強いです。

耐震化工事を終えた、みどり保育園



地域活性化、元気な商店街、文化スポーツなどに にぎわいと活力ある蕨へ

蕨駅東口コミュニティ・ショッピング道路は、地元商店街の皆さんなどと計画づくりに着手するほか、商品開発を目指して、わらびりんごサイダーの試作品を製造します。

- ◎ 防災含め、地域密着型公共事業で地域活性化
- 中心市街地活性化計画の国の認定と本格的推進
- 蕨東西口のコミュニティ・ショッピング道路整備
- ◎ 空き店舗有効活用事業の実施
- ◎ 都市計画制度を活用し、防災や商店街活性化など中央第一地区の新たなまちづくりの推進
- 蕨駅西口第二、第三工区の「市負担の大幅削減」に向けた計画見直し
- ◎ 住宅リフォーム助成制度の拡充
- わらびりんごでロマンあるまちづくり推進
- 音楽によるまちづくりの推進
- 文化スポーツ施設のインターネット予約導入

▶ 更なるにぎわいの創出を進めます



▶ ぶらっとわらびの無料化で外出支援



介護、健康づくり、障害者福祉など 誰もが安心して暮らせる蕨へ

27年4月の開設に向け、市内3か所目となる、南町での特別養護老人ホームの整備と、錦町の市有地を活用した障害者グループホームの整備を引き続き支援します。

- ◎ 特別養護老人ホームの増設
- ◎ 75歳以上の「ぶらっとわらび」無料化
- 市立病院の経営改革と診療体制の拡充
- ◎ 高齢者の肺炎球菌ワクチンへの公費助成
- ◎ 障害者のグループホーム設置
- 一人暮らし高齢者の見守りや災害時の避難支援

引き続き、市財政の健全化を進め 持続可能な都市・蕨へ

厳しい財政状況の中、防災対策などを積極的に進めながら、この3年間で12億円以上の借金を削減しました。

- ◎ 市の借金総額を4年間で10億円以上削減
- ◎ 市の人件費を4年間で2億円以上削減
- 国、県の補助金の積極的活用
- ◎ 市の滞納債権回収の体制強化と収納率向上

防災、防犯、環境、まちづくりなど 安全安心、環境に優しい蕨へ

子どもたちと地域の安全を最優先に考え進めてきた学校体育館の耐震化を完了し、学校耐震化率100%を達成。また、古い耐震基準で建てられた保育園の耐震化を引き続き実施していくとともに、公民館の耐震設計などを行います。

- ◎ 全ての学校体育館の耐震化を4年間で完了
- ◎ 保育園や公民館など公共施設の耐震化促進
- 水道などライフラインの更なる強化
- ◎ 自主防災組織への支援強化
- LED防犯灯400基設置(取替え)
- ◎ 自主防犯組織への支援強化
- 蕨市内の犯罪発生件数を20%削減
- ◎ 家庭用太陽光発電に対する助成
- リサイクルフラワーセンターを活用したエコキャップと花いっぱい運動の拡大
- 錦町土地区画整理事業の促進

▶ 耐震化完了で地域の安全性が向上



▶ すべての小学校で学校土曜塾を実施



子育て支援、教育の充実など 子どもたちの笑顔あふれる蕨へ

27年4月、塚越(定員110人)と北町(同66人)に民間認可保育園が開園します。また、今年度から全7小学校で学校土曜塾を実施し、学習環境の更なる充実を図っています。

- ◎ 待機児童の解消に向け、認可保育園の増設
- ◎ 学童保育(留守家庭児童指導室)の時間延長
- ◎ 小・中学校へのエアコン設置
- ◎ 小学校全学年での35人程度学級実施
- ◎ 全小・中学校での学校図書充足率100%へ
- ◎ 子宮頸がんワクチンへの公費助成
- ◎ アウトメディア宣言で、青少年の健全育成推進
- ◎ 希望する児童を対象とした学校土曜塾の開設

市民との協働を本格的に進め 心が通い合い、みんなで作る蕨へ

市民参画と協働を推進する条例に基づき、創設した協働事業提案制度を実施するなど協働のまちづくりを更に推進。

- ◎ 市民参画協働のための条例制定
- ◎ 地域貢献活動に対するポイント制度導入
- ◎ ネットワークステーションをくるる1階に整備



レポート そこが知りたい

<100>

24時間体制で地域を守る 消防救急デジタル無線システム導入

市では、県内に先駆けて、消防救急デジタル無線システムを整備し、今年度から運用を開始しました。このシステムは、市民の皆さんのより安全安心な暮らしを確保するためのものです。今月は、その導入の経緯と概要についてご紹介します。

社会情勢に合わせて デジタル方式に移行

私たちの生活の中では、テレビや携帯電話など、さまざまな分野でデジタル化が進んでいます。これにより、データ伝送をはじめとした、より高度な電波の有効利用が可能になりました。

消防救急無線においては、これまでアナログ通信方式による音声を中心

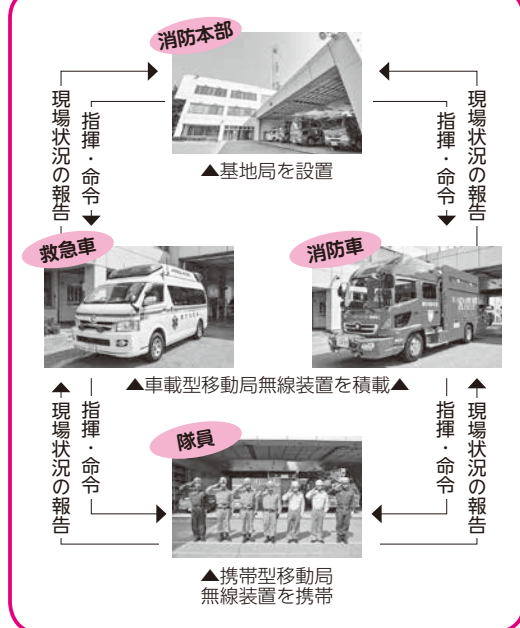
とした運用が行われてきましたが、平成15年に総務省によって基準が改正され、アナログ周波数の使用期限が28年5月31日までとなり、デジタル方式への移行が義務化されることになりました。消防救急無線とは、消防本部と、消防隊や救急隊とを結ぶ通信網のことで、消防・救急活動を効果的かつ効率的に行う上で必要不可欠なものです。

しかし、東日本大震災では、消防救急無線がデジタル化されていなかったため、無線の混線などが発生し、緊急消防救助隊の活動に支障を来しました。その結果、今後想定される大規模災害時の救命・救助活動を円滑に行うため、デジタル化の早期導入を求める声があるようになりました。

いち早く整備を進め 大規模災害にも対応

そうしたなか、蕨市では、県内に先駆けて、消防救急デジタル無線システムを整備し、4月1日から運用を開始しました。このシステムは、消防本部に設置されている基地局を中心に、消防車や救急車に積載している車

消防救急無線のイメージ



情報伝達をつかさどる通信指令室

とも特徴です。また、大規模災害の際には混線の回避を図ることができ、万一に備えた対応力を高めることにもつながります。なお、導入に当たっては、総事業費1億4910万円に対し、国からの補助金約5000万円を活用しています。

機器と設備を生かし 消防救急体制を強化

消防救急デジタル無線システムは、365日・24時間体制で行われる消防・救急活動を支える新たなしくみです。

市では今後も市民の皆さんの生命や財産を守るため、安全で安心なまちづくりを進めていきます。

問い合わせ 消防本部
総務課(☎441・0173)

蕨 いま むかし

- 322 -

西公民館での結婚式

語る人



やまの いともいち
山野井友一さん
中央5丁目・78歳

昭和53年、錦町3丁目に開設された西公民館。その前身となる旧西公民館は、地域住民の要望により、昭和34年、錦町5丁目の中山道沿いに建てられ、生涯学習や地域の集いの場として、皆さんに利用されてきました。

昔の写真は昭和36年10月、旧西公民館で執り行った私たち夫婦の結婚式の様子です。今と異なり、昔は公民館で式を挙げられたんです。まだ式場が少なく、自宅で挙げる人も多かった時代でしたが、知人の紹介により利用することに決めました。床の間がある2階の部屋で三三九度、1階の大部屋で披露宴を行いました。



情報ダイヤル

掲載は無料です
秘書広報課 (☎433・7703)

〔仲間になりませんか〕

▶認知症予防とストレッチ体操 月・水・金曜日(男女混合)=午前6時15分
火・木曜日(男性)=午前7時25分 城址公園<平田・☎090・3131・9399>

▶土曜ダンス教室 月2回土曜日 午後1時半 中央公民館 月2,200円
初心者歓迎<原・☎444・5754>

▶蕨北町サッカースポーツ少年団 土・日曜日・祝日 北小学校 月1,500~2,000円(未就学児は年間1,000円) 年中~小学生<小泉・☎090・4948・5936>

▶蕨市少林寺拳法スポーツ少年団 土曜日 午後5時 第二中学校 月2,000円
小・中学生<上堀・☎090・9319・6782>

▶楊名時(太極拳) 土曜日 午後2時半 蕨駅東口駅前ラ・セーヌビル 月4,500円<浦島・☎224・5915>

▶合気道無為会 月・木曜日 午後7時 市民体育館または第二中学校 月1,000円<壺内・☎441・1072>

▶児童合唱団「野うさぎ」 土曜日 午後4時半 南公民館 月3,500円 5歳~高校生<近藤・☎441・5659>

▶ヨーガ シャンティ 木曜日 午後1時半 中央公民館 月1,500円 見学歓迎<齋藤・☎090・1853・3648>

▶はたごっこ(機織り) 第1・3水曜日 午後1時 年間1,200円 会場などは電話で要確認<川野・☎090・2497・1748>

〔参加しませんか〕

▶江戸あるき 護国寺から芭蕉庵・江戸川公園まで 5日・10日・12日から選択 いずれも午前9時 蕨駅改札口集合 500円<富山・☎090・2764・1342>

▶蕨市南剣道クラブ無料体験 土曜日 午後6時 南小学校 小学生 防具は同クラブで用意<沼野井・☎442・1787>

▶日帰り旅倶楽部 東御苑・江戸城で歴史を巡る 10月18日 参加費1,000円 説明会あり<岩本・☎090・3431・4295>

▶ダンスパーティー 7日・24日・31日 午後1時 文化ホールくるる 499円<犬塚・☎441・7373>

〔ご相談ください〕

▶蕨断酒会(酒害相談) 1日=中央公民館 11日=南公民館 17日=旭町公民館 午後7時<円淨・☎090・2522・8688>

まちの話題

5月25日、錦町4丁目にある市内唯一の田んぼで「田んぼの学校2014」が開校しました。田植えから稲刈りまで、米作りを体験できる同事業は今年で6回目。参加した64人の子どもたちは泥んこになって田植えを行い、自然と触れ合いながら交流を深めていました。

田植え通じて自然体験



地域の皆さんが力を合わせて清掃活動に取り組む「クリーンわらび市民運動」が、6月1日、市内全37町会で実施されました。道路や公園に落ちていた空き缶や雑草など、参加した4594人によって集められたごみは合計6970袋。ご協力ありがとうございました。

地域ぐるみの美化活動



障害者と地域の皆さんが交流の輪を広げる「社会福祉センターまつり」が6月8日に同センターで開催されました。43人が会場を訪れ、かがやき太鼓や児童・生徒による演奏、模擬店や手作りパン販売などを通じて、触れ合いと福祉への理解を大いに深めていました。

福祉の心を培うお祭り



6月14日と15日、ねむのき公園(中央2-24)で「あじさいまつり」が開かれました。500本のあじさいが彩る会場は、模擬店やバンド演奏、総勢300人の手踊りで大にぎわい。更に今年は栃木県大田原市の物産販売も行われ、延べ1600人が訪れる盛況ぶりでした。

あじさいまつり大盛況



自転車や車による仮想事故をスタントマンが演ずる「スケアード・ストリート交通安全教室」が、6月21日、蕨高校を会場に開かれました。地域の人や高校生ら1530人が事故の怖さを目の前で体感したほか、車の死角体験コーナーなどを通じて安全意識を高めました。

安全意識を高める教室



40人ほどの列席者が祝ってください、とても幸せだったのを覚えています。
今の写真は旧西公民館跡地の様子です。春日町会集会所として一部使用されたり、その隣では西小学校の児童が野菜を栽培したりと地域活動の場として利用されています。

暑い日はお気軽にどうぞ 「クールオアシス蕨」で 元気に快適な夏を

今年も暑い夏がやってきました。
市では、熱中症対策や家庭での節電の一環として、13の公共施設を一時休憩などに開放する「クールオアシス蕨」を実施しています。期間は今年1日から9月30日まで。上手に利用して、元気に夏を乗り切りましょう。

親と子の ニュースの 小窓



実施施設にはこちらのポスターを掲示

猛暑時の休憩スポット 節電にも一役

ワラビ あれ？公民館の入り口にポスターが貼ってあるよ。「クールオアシス蕨」だって。

お母さん 熱中症対策や家庭での節電の一環として、公共施設のロビーなどを猛暑時の一時休憩や緊急避難場所として、開放しているの。期間は今年から9月30日までよ。
ワラビ 喉も渴いちゃったし、中に入ろうよ。
職員 こんにちは。今日も厳しい暑さですね。
ワラビ ふう、涼しい。

子どもやお年寄りも熱中症に要注意を

お母さん 夏を元気に過ごすためには、熱中症に気をつけなきゃね。
ワラビ どんなことに注意すればいいか、保健師さんに聞きたいこうよ。

保健師 こんにちは。この時期、熱中症で救急搬送される人がとても多いんですよ。昨年は県内でも約3500人が病院に搬送されました。
ワラビ え、そんなに。

保健師 特に注意が必要なのは、乳幼児や高齢者の皆さんです。
ワラビ どうして？
保健師 乳幼児は体温の調節機能がじゅうぶんでなかったり、苦しくても状況を伝えられなかったりしますからね。また、高齢者は暑さや喉の渴きを感じにくい傾向があるため、対応が遅れがちになってしまふんです。

「クールオアシス蕨」実施施設一

市役所、福祉・児童センター、図書館、保健センター、交流プラザさくら、市民会館、7公民館（詳細は下段）

各公民館のクールオアシス事業	中央公民館 ／■スタディールーム：8月29日まで 午前9時～午後6時 小学生以上 談話コーナーを開放 ■ちびっこプール：22日～8月29日 午前10時～午後3時 中庭 親子（未就学児） ※いずれも平日のみ（31日を除く）
	東公民館 ／■ファミリー映画会：①23日 午後2時 ②8月26日 午後1時 親子（小・中学生） ■夏休み子ども勉強部屋：8月20日～29日（23日・24日を除く） 午前9時～午後3時 小・中学生 団体連絡室を開放
	西公民館 ／■すたでいる～む：8月の火曜日 午前9時～午後4時、木曜日 午後1時～4時 小学生以上 団体連絡室を開放 ■無料卓球体験：8月の火曜日（12日を除く） 午後2時～4時 集会室 どなたでも参加可
	南公民館 ／■虫よけスプレーとかゆみ止めをつくってみよう！：8月5日 午前10時 未就学児の母親 先着16人 1,000円 筆記用具持参 ※託児あり 申し込み＝7日～25日に費用を添えて同館
	北町公民館 ／■図書ラウンジ：毎日 午前9時～午後5時 ■みんなのお家：子ども向けに空き部屋を開放 日程は同館
	下蕨公民館 ／■子ども映画鑑賞会：8月5日 午後1時半 ■すまいるば～く：講座室を開放 日程は同館
	旭町公民館 ／■まちのクールオアシス：8月の火曜日 午後1時～5時 小学生に和室を開放

お母さん 炎天下の屋外だけでなく、室内や夜間でも油断は禁物ですよ。
保健師 はい。節電中でもエアコンなどを使っても室温が28度を超えないように心がけてください。
お母さん 熱中症予防には、こまめな水分や塩分の補給も欠かせないわ。
保健師 喉が渇く前や就寝前にも意識的に水分をとるといいですね。スポーツ飲料も効果的ですよ。
ワラビ なるほど。
保健師 もし、めまいや吐き気、頭痛などの異変を感じたら、すぐに医療機関に相談してください。それと、暑い日には近所で声を掛け合うなど、周囲の人の体調にも気を配ってあげてくださいね。
ワラビ はい。みんなにも「クールオアシス蕨」をお勧めしておくね！



ほっと・エッセイ 71

蕨ブランド「双子織」で
にぎわいの創出へ

市長 頼高英雄

皆さんは「双子織」をご存じですか。二本の糸を絡ませて縞模様にした双子織は、江戸末期に、織物のまちとして栄えた蕨で誕生したもので、素朴な風合いと艶やかな質感が評判を呼び、その名が全国に知られていました。その双子織を後世に伝えようと、これまで中仙道の皆さんが商品開発に取り組み、私も名刺入れや手提げ袋を愛用していますが、この度、商工会



双子織商品の一例

議所を中心にプロジェクトが立ち上げられ、5月から双子織のキャラクターデザイン募集を行っています。うれしいことに、多数の応募と併せて企業から商品化のお話もきているそうです。今年度からスタートした「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンでは、地域資源を活かした蕨ブランドの創出を掲げていますが、双子織が蕨ブランドとして大きく育ち、蕨のにぎわい創出につながることを期待されます。機まつりでは、応募作品への市民投票も行われますので、ぜひ、ご参加ください。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。
今月は3日。ただし、8月は12日の火曜日です。時間は午後1時～5時を予定しています。
ご希望のかたは秘書広報課
(☎433・7701)へ



練習はタイヤの輪太鼓で

子どもクラブ

中央公民館

額に汗を光らせながら和太鼓に見立てたタイヤを打ち込む子どもたち。これは、6月13日から7月11日まで中央公民館で開かれている「太鼓教室」(全5回)での一場面です。市内在住の池田絵美さんによる指導の下、6歳から小学5年生までの6人が日本の伝統的な楽器の演奏に挑戦しています。ほんものの太鼓は2張しかありませんが、地域のかたが貸してくれたタイヤで楽しく練習に励む子どもたち。太鼓に触れるのが初めての子も、「地域のお祭りでもたたいてみたいな」と、目を輝かせていました。

わが家のアイドル



てっ
太ちゃん
(1歳11か月)

おおくま けいいちろう
大熊 慶一郎さん
ひとみさんの
長男
北町3丁目

—507—

「体を動かすのが大好きな哲太の楽しみは、夫が所属する地域のネオホッケーチームの練習についていくこと。身長と同じくらいの長さのスティックを手にボールを追いかける姿に思わずほえんでいます。最近はおね」と、母親のひとみさん。電車にも夢中で、夫の日にはお気に入りの蕨陸橋からいっしょに線路を眺めています。もちろん、わらわつまつりも楽しみにしているようです。そんな哲太には明るく誠実な子に育ってほしいですね」と、母親のひとみさん。

は

腹八分に医者いらず

暴飲暴食をしなければ、病気になることなく健康に過ごせるというたえです。これが科学的に立証されています。

かるた DE
ヘルスケア



蕨市立病院
柴田 優子 医師

米国の有名な実験で、カロリーを30%(腹七分)減らし飼育されたサルを20年間観察したところ、減らさなかったサルに比べ、外見も若々しく元気で生活習慣病も少なく、死亡率も下がりました。バランスのとれた食事を一日3回+腹八分。健康を維持する根幹だと思います。次回は「肥満」と「腹八分」を関連させ、底なしの食欲になる理由と対策をつづります。

柴田医師の健康増進外来は木曜日午後。詳細は市立病院ホームページでご確認を



音楽の魅力を子どもたちに伝える山中さん

輝いています

塚小ウクレレクラブ ボランティア講師

ひと

やま なか いち ろう
山中 一郎 さん

笑い声と音楽が響き渡るまちに

毎

週金曜日の昼下がり、塚越小学校には、ウクレレの音が鳴り響いています。

この陽気なメロディを奏でているのは、昼休み限定のウクレレクラブ「Ohana & Amigo」の皆さん。そして、名前に「家族と友達」という意味を持つ同クラブを指導しているのが、地域で音楽の楽しさを伝えている山中一郎さん（塚越7丁目）です。

2歳でウクレレ、3歳でドラム、小学生でピアノやエレキトーンと、幼少期からさまざまな楽器に親しんできた山中さんは、大学在学中、市内で音楽教室を開校。現在は生徒への指導の傍ら、塚越小学校のPTA副会長やスクールの

ガード・リーダーを務めるなど多忙な毎日を送っています。

教室や学校などで多くの人と触れ合ううちに、「子どもや地域のために、音楽を通してできることはないか」と、アイデアを考えるようになった山中さん。まずは5年ほど前、町会の皆さんと協力しながら、地元の盆踊りで子どもたちが太鼓をたたける環境を整備し、現在もその指導に当たっています。続いて、昼休みを活用した音楽教室の開催を塚越小学校に提案。楽器は、子どもにも取り組みやすく、いっしょに弾けばみんなの心がつながるウクレレを採用しました。学校からの快諾を得ると、自ら楽器を提供し、今年度から6年生を対象とした特別授業をスタートさせました。楽しい20分間が過ぎると評判を呼び、毎回会場は満席。子どもたちは早くもウクレレのとりこになっています。

更に今後の目標について、「子どもたちのウクレレ演奏でお年寄りがフラダンスを踊ったら、きっと楽しいでしょうね」と、目を細める山中さん。その心に思い描く地域の将来像は、誰もが家族や友達のように笑顔で暮らす、そんなまちなかかもしれません。

紹介します！ 皆さんの市民活動

キラリ!!
みんなの力

～日本舞踊 千の会～

メッセージ



なかむら ともよ
中村 智代 代表

活動を通じて広げたい
日本に伝わる文化の輪

「日本舞踊 千の会」は、日本の伝統芸能の普及に貢献しようと平成19年から活動している団体です。会員の対象は5歳から小学生までで、お稽古だけでなく、不定期で開催している作法の講習会などを通して、所作や礼儀のたいせつさも学んでいます。

お稽古は、第1・4水曜日の午後4時から東公民館で、花柳政千尾先生の優しい指導の下、楽しく日本舞踊に取り組んでいます。

このコラムでは、わらびネットワークステーション（☎45・7256）の市民活動登録団体を紹介しています。

ます。こうした活動の成果は、生涯学習フェスティバルや桜まつりの輪おどりといった地域の催しで発表しています。今月27日のサマーパーク・フェスティバル（お知らせ版5頁）でも、きれいな踊りを披露しますので、ぜひ御覧ください。また、夏休み中には、デイサービスセンターへの慰問や東公民館の夏休み子ども教室のお手伝いなど、地域での交流活動も予定しています。

このように、私たちは日本舞踊を通じて触れ合いを深めています。いっしょに踊りたいかたは、お稽古の見学に来てみませんか。事前に東公民館（☎442・4052）までご連絡ください。



発表の日が近づき、お稽古にも身が入ります